

◇—————<(_)> ◆◇ 謹 賀 新 年 ◇◆ <(_)>—————◇

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2014. 1. 6

下水道機構の『新技術情報』 第123号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇—————◇

メルマガ読者の皆様、新年明けましておめでとうございます♪お正月は、ウマイご馳走のおかげで、体も防寒対策ができましたが、少々ウエスト周りがキツイです(笑)

それでは皆様、今年もどうぞよろしく願いいたします。皆様にとって素晴らしい2014年となりますように♪

今年初の機構メールマガジン『新技術情報』第123号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・2/7(金)大阪、2/14(金)東京で、下水道新技術セミナーを開催します【再掲】

■機構の動き

・今週は、1/9(水)に技術サロンを開催します！国土交通省水管理・国土保全局下水道部 町村下水道対策官 那須基 氏をゲストにお迎えして、「平成26年度下水道事業予算について」ご講演いただきます！

■Tea Break

・新年のご挨拶(江藤 専務理事からの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・今回は、「下水道機構の仕事始め」をお届けします

■国からの情報

・12/27付下水道ホットインフォメーション

—————。○○。

インフォメーション (最新の話題です)

。○○。—————

●2/7(金)大阪、2/14(金)東京で、下水道新技術セミナーを開催します【再掲】

地方公共団体および民間企業と共同研究した成果の紹介とその普及促進を目的として、公共団体および民間企業等の技術者を対象とした新技術研究発表会を開催いたします。2月7日(金)大阪市西区大阪科学技術センターで、2月14(金)東京都港

区発明会館で、両会場とも13:00~16:45に開催します。

今回の発表会には、国土交通省下水道部の増田下水道事業課長（大阪会場）・加藤流域管理官（東京会場）と、東京大学大気海洋研究所木本副所長・教授を特別ゲストとしてお招きし、最新のホットな情報として、それぞれ「下水道をめぐる最近の話題」、「気候変動の将来予測とリスクについて～気候変動に関する政府間パネル第5次評価報告書第1次作業部会報告書を受けて～」についてご講演いただきます。当機構からは各研究部長が、今年度の主要テーマについて、研究成果を発表いたします。

なお、土木学会の継続教育(GPD)プログラムにも認定されていますのでご活用下さい。公共団体、企業等の下水道技術者等を対象に、参加費は無料（講演資料を取りまとめたテキストが必要な場合は、テキスト代1,000円）で参加者を募集中です。

参加をご希望される方は、当機構ホームページからWeb申し込みをお願いします。

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-form>

。○○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○○。

●平成26年1月9日(木) 17:00~18:00

行 事：第322回技術サロン

場 所：下水道機構8階 会議室

講 師：国土交通省水管理・国土保全局下水道部 町村下水道対策官 那須基 氏

テーマ：「平成26年度下水道事業予算について」

※お申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○平成26年2月7日(金)【大阪会場】13:00~16:45

平成26年2月14日(金)【東京会場】13:00~16:45

行 事：第19回新技術研究発表会

詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-info>

。○○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

。○○。

●新年のご挨拶(江藤 専務理事からの投稿です)

新しい年を迎えました。日頃メルマガをご愛読いただき有り難うございます。皆様にとりまして、今年一年が良い年でありますようにお祈りします。

さて、下水道機構も、昨年、公益財団法人として新しくスタートしました。下水道機構の全ての事業活動は、公益すなわち社会に貢献することが目的です。

下水道事業を取り巻く課題も山積し、大変困難な時代を迎えていますが、私たちの事業活動が、それらの課題解決に繋がり、下水道関係者ひいては地域の人々に喜ばれ

- 「アジア水環境パートナーシップ（WEPA）公開セミナー」の開催について

【環境省】

- 「高知県下水道地震・津波対策ガイドライン」を策定しました！！【高知県】

○平成 26 年度予算について【下水道事業課】

12 月 24 日に、平成 26 年度予算政府案が閣議決定されました。国土交通省においては、「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」及び「経済・地域の活性化」の 3 分野に重点化し、これら課題に対応した施策の効果の早期実現を図ることとしております。

また、今後の社会資本整備については、厳しい財政状況の下、国民生活の将来を見据えて、既存施設の機能が効果的に発揮されるよう計画的な整備を推進するため、必要な公共事業予算を安定的・持続的に確保することとしております。

なお、下水道事業においては、PPP/PFI の積極的な活用等を推進するために「民間活カイノベーション推進下水道事業」を創設するとともに、「下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）」等を推進することとしております。

<平成 26 年度国土交通省予算（国費）>

一般会計 5 兆 1, 6 1 6 億円（1. 0 2 倍）

うち公共事業関係費 4 兆 5, 5 8 0 億円（1. 0 2 倍）

・社会資本総合整備 1 兆 9, 9 6 4 億円（1. 0 2 倍）

・下水道事業関係費 5 3 億円（1. 0 0 倍）

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_003129.html

○都道府県構想策定マニュアル説明会の開催について【下水道事業課】

人口減少や厳しい財政事情等を踏まえ、都道府県構想の徹底した見直しを加速するとともに早期の汚水処理の概成を目指すため、農林水産省、国土交通省、環境省の 3 省が連携して設置した「都道府県構想策定マニュアル検討委員会（委員長 古米弘明 東京大学大学院教授）」において、3 省統一の都道府県構想マニュアル（「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」）について審議を行い、来年 1 月には公表する見通しとなりました。

つきましては、国土交通省・農林水産省・環境省の主催により、下記の通りマニュアルの内容について都道府県の担当者を対象とした説明会を開催いたします。

・日時：平成 26 年 2 月 13 日（木） 13：30～15：30

・場所：TKP ガーデンシティ竹橋 ホール 1 1 G

→都道府県構想策定マニュアル検討委員会資料

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000277.html

○「下水汚泥などのバイオマス資源有効活用技術講習会 in 熊本」の開催について

【土木研究所】

※12 月 6 日号でお知らせしておりますが、詳細が決定しましたので改めてお知らせします。

土木研究所が保有する技術の紹介と現場技術者の方々との意見交換を行うことによ

り、それぞれの下水道管理者が抱える課題を解決するためのヒントを参加者で考える機会とする下水汚泥などのバイオマス資源有効活用技術講習会を下記のとおり開催いたします。

ご関心有る方は是非ともご参加願います。

- ・ 期日：講習会 平成 26 年 2 月 6 日（木） 13：30～16：00
現地視察 平成 26 年 2 月 7 日（金） 9：00～16：00
- ・ 場所：講習会 熊本市国際交流会館 4 階 第 1 会議室
現地視察 熊本市内下水処理場
- ・ 対象：下水道事業実施市町村、下水道関係公社、コンサルタントや維持管理に関わる技術者など
- ・ 定員：50 名程度
- ・ 主催：独立行政法人 土木研究所
- ・ 後援：熊本県、熊本市
- ・ 申し込み：要事前申し込み

<http://www.pwr.i.go.jp/jpn/news/2014/0206/session.html>

（独立行政法人土木研究所材料資源研究グループリサイクルチーム）

●「アジア水環境パートナーシップ（WEPA）公開セミナー」の開催について

【環境省】

環境省では、日本を含むアジア 13 カ国が参加する「アジア水環境パートナーシップ（WEPA）」を通じて、参加国の水環境管理の改善、実施推進のための情報・知識共有を進めてきました。今年度第 2 期事業が終了することに伴い、今までの活動で得られた成果をアジアにおける水関連事業（国際協力事業やビジネス含む）に携わる国内の企業、研究機関に対して紹介することを目的とした公開セミナーを開催します。

本セミナーでは、アジア諸国の水質管理制度の現状と今後の取組課題について考えます。アジア諸国では水環境保全分野における国際援助、ビジネス展開を含めた日本への協力の期待が高まっています。アジア各国の水環境保全に取り組んでいる行政官と直接対話ができるこの機会を是非ご活用ください。

参加登録は以下 Web からお願いいたします。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17537>

- ・ 日時：平成 26 年 1 月 23 日（木）13：00～17：30
- ・ 場所：政策研究大学院大学 想海樓ホール
- ・ 定員：200 名程度
- ・ 言語：日本語・英語（同時通訳付き）

●「高知県下水道地震・津波対策ガイドライン」を策定しました！！【高知県】

10 月に、高知県下水道地震・津波対策検討委員会を設置し、委員会では県内全ての下水道管理者が委員として参加するとともに、地震・津波対策の基本となる被害想定については、下水道の担当で構成する勉強会により、職員自らが行うことで、地震・津波対策の継続性を図り、より現実的なガイドラインとなるよう工夫をしました。

このガイドラインは、南海トラフ地震発生時においても県民の生活を守るため、地

域による被害想定の度合いや市町村の財政状況に応じ、防災と減災の両面から下水道の有すべき機能（避難場所、流下・揚水・消毒・放流機能）を確保することとしています。

今後は、それぞれ下水道管理者が策定する効率的かつ効果的な下水道施設の地震・津波対策や下水道BCPの策定のために、本ガイドラインが役立つものとなります。

詳細は、高知県ホームページ下記URLを参照願います。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/171801/kouchikenngesuidoujishinntunamitaidesakugai-dorainn.html>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■1月の技術サロンの開催について【下水道機構】

（平成26年1月9日開催）

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

→12月20日掲載

■住民参加の事例を学び、熱く語り合いませんか？GKPトークゲストに岩手県矢巾町の吉岡律司氏【GKP】

（平成26年1月17日開催）

<http://www.gk-p.jp/information.html>

→12月20日掲載

■「堺市三宝下水処理場機能移転工事完成及び供用開始50周年記念講演会」の開催について【堺市・JS】

（平成26年2月14日開催）

<http://www.jswa.go.jp/topics/kouenkai/251213kisyu.pdf>

→12月13日掲載

■NP0 21世紀水倶楽部設立10周年記念シンポジウム「地球環境時代の下水道を考える」の開催について【NP021世紀水倶楽部】

（平成26年1月14日開催）

<http://www.21water.jp/>

→11月22日掲載

=====

【参考情報】

◆台南市と環境産業で覚書 県、水質保全ノウハウで企業交流促す 滋賀<12/20 MSN産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/131220/shg13122002050000-n1.htm>

◆80人が現場見学 平成の太閤下水貯留管築造<12/22 大阪日日新聞>

<https://www.nnn.co.jp/dainichi/news/131222/20131222022.html>

◆BOD・COD 基準達成率 88.6%に 平成 24 年度公共用水域水質測定結果<12/24 EIC
ネット>

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=31626&oversea=0>

◆南海トラフ地震で浸水 尼崎 19.5、西宮 9.1%<12/25 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hyogo/news/20131225-0YT8T00077.htm>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町 3 番 1 号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニューズレタークイズの答えはこちらから

→<http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
